

自主・創造・根気

第13号

2018. 9. 5

三田市立狭間中学校

「ありがとう」ー学級で広めたい言葉ー

9月3日(月)、4回目の「生活アンケート」を実施しましたので報告いたします。

今回は学期のはじめなので質問を【①この学級に広めたいことば】【②この学級からなくしたいことば】【③今年の4月から今日までで、自分は「いじめを受けた」と感じたことがありますか?】【④今、気になることや悩んでいること】の4項目で実施しました。

【①この学級に広めたいことば】の質問では、「ありがとう 46.0% (1年:42.1% 2年:46.9% 3年:48.5%)」の回答が圧倒的に多くありました。他人との関わりで、感謝されることに喜びを感じているとともに自己有用感の大切さを改めて感じました。

学年別に見てみると、1年生は「仲間 7.5%」「団結・協力 7.5%」「楽しい 6.5%」等、2年生は「あいさつ(おはよう) 7.8%」「団結・協力 6.3%」「笑顔 4.7%」等、3年生は「頑張ろう 4.6%」「笑顔 4.6%」「おはよう 3.8%」等の回答が多くありました。級友と仲良く協力しながら高め合う大切さを感じているようです。

【②この学級からなくしたいことば】の質問では、「死ね、殺す、消えろ 1年:15.0% 2年:18.0% 3年:28.5%」等の回答が多く、自分の存在を否定されるような言葉は、生徒にとっても精神的ダメージが大きいことがわかります。また「いじめ 1年:17.8% 2年:8.6% 3年:8.5%」への関心も高かったです。どの学年も「ウザい、キモい」「あほ、バカ」等の暴言や「めんどくさい、だるい」等の消極的な発言の回答が多く見られました。軽く言ってしまう言葉だけに「自分が言われて嫌な言葉は、他の人に言わない」を大原則に学校生活を送ってほしいと思います。

【③今年の4月から今日までで、自分は「いじめを受けた」と感じたことがありますか?】の質問で【ある】と回答した生徒は、1年生1人、2年生1人、3年生1人でした。また、【ある】と回答した生徒の内、【そのことは、自分の中で解決しましたか?】の質問に対しては、3人共に【はい】と回答しています。

【④今、気になることや悩んでいること】の質問を関係毎に見てみると、1年生は「勉強やテスト等 12人」「部活動 1人」「人間関係 2人」「自分自身のこと 2人」、2年生では「勉強やテスト、宿題 13人」「進路等 2人」「部活動 8人」「生徒会 2人」「自分自身のこと 2人」「人間関係 2人」「部活動と勉強の両立 1人」、3年生では「勉強やテスト 15人」「進路、受験 10人」「自分自身のこと 3人」「人間関係 2人」「勉強と部活動の両立 1人」「学校行事 1人」の回答がありました。今後も個々の生徒としっかり向き合い、悩みの解消に努めていきます。

○ 幸せの素は「笑顔」 *森沢明夫(小説家)

表情って大事です。笑っているだけで相手に与える印象がまるで違います。そもそも人は笑顔でいるだけで免疫力が高まり、健康に良いという科学的データがあるそうです。しかも、心から笑っていなくても笑顔をつくるだけで免疫力が高まるのです。

いつも上機嫌で笑っている人の周りには、自然と笑顔いっぱいの楽しい人たちが集まってきます。集まった人が笑顔だと雰囲気も良くなり、お互いに好意を持ちます。もし、その中の一人が悲しい顔をしていたら、周りは手助けをして笑顔に戻そうとします。自分の周囲の人たちが笑顔でいると、自分にとっても居心地が良いことを無意識に分かっているからです。だから、自然と助け合いが生まれ、結果、感謝と信頼も生まれます。

最強なのは、失敗した時やピンチの時でも笑って上機嫌でいられる人です。そんな人は、自分の笑顔に支えられて良くなっていくことが多く、そんな「上機嫌の天才」の周りには、楽しく上機嫌な人たちがどんどん集まってきます。幸福を増やす行為は、上機嫌で過ごし笑顔でいることなのです。

「あいさつで みんなのえがおひろげよう」 *あいさつ運動共通スローガン

8月1日(水)、「狭間中学校区学校園連携事業」の一環として、昨年度に引き続き本校の生徒会役員と武庫小学校と狭間小学校の児童会が交流会を行いました。

交流会では、各学校のあいさつ運動やいじめ撲滅のための取り組みなどを紹介し、3校で連携したあいさつ運動や学校紹介などの取り組みを話し合いました。

各校の新たな取り組みは新鮮で、今後の活動の刺激になるよい機会となりました。